

教育委員会

だより

佐賀小学校

「たくましく心豊かな児童の育成」をめざして

校長 高見 匡

はじめに

本校は、学級数8、児童数125名、教職員数15名で、教育目標の「たくましく心豊かな児童の育成」をめざして、基礎学力を定着させ(知)、一人ひとりを大切に(徳)、たくましい心と体を育てる(体)取り組みを行っています。

校内研究の具体的な取り組み

◆学習規律の確立のために

- ①学習の準備と自主的な行動をとらせる。
- ②学習の約束の習慣化を図る。
- ③聞く、話す、読む、書く活動で学習規律の定着を図る。
- ☆聞く⇨発表者に目と耳と心で反応しながら
- ☆話す⇨全員に分かる声で結論として理由をいれ、息の長い発表
- ☆読む⇨音読(堂々と気持ち

を込めて)・読書(静かに集中して)

☆書く⇨正しい姿勢で、正しい鉛筆の持ち方で

④児童の状態を具体的に把握し、分析と対応を進める。

◆基礎学力の定着のために

- ①学年目標を設定し、計画・実践・検証・改善を行う。
- ②読書タイムの充実を図る。(火・木の8時10分から10分間)

☆図書室の本の利用を進め、学年選定図書を読み記録を残す。

③計算タイムの充実を図る。(計算タイム⇨火・水・木8時20分から10分間)

☆図書室の本の利用を進め、学年選定図書を読み記録を残す。

④漢字タイムの充実を図る。(毎日13時50分から10分間)

☆新出漢字の習得を2学期中に行い、3学期は下学年や該当学年の漢字の復習をする。

☆とめ、はねなどに気をつけた丁寧な字の指導を行う。

☆筆順を確認する。

☆漢字・国語辞典や教科書を活用する。

⑤各種学力調査および町統一テスト・到達度テストなどを活用する。

☆分析結果をもとにして授業に生かす。個々の児童へ具体的な対応をする。

⑥加力指導の充実を図る。(火曜日の放課後30分間)

⑦TTIによる授業形態の研究実践を行う。

⑧チャレンジ国語・算数を実施する。(毎月第3・4週の6校時4～6年生が対象)

◆「かわり合う」授業の創造

- ①「読む力」向上のための具体的方策をとる。
- ②「かわり合い方」の具体的方策をとる。
- ③指導過程(一時間の授業の流れ)の工夫を行う。

☆全員が学習する場を設定する。

☆自力解決の場を設定する。

☆ノートを活用する。

☆学びあいの場・ねりあいの場を設定する。

☆授業評価をもとにして授業改善を図る。

☆授業形態の研究実践を行う。

②基本的な生活習慣の徹底を図る。

③体力測定の結果の活用と運動量を確保した授業の創造を通して、体力づくりを行う。

④学習の習慣化・定着化を図る。

◆仲間づくり・人権教育の推進

- ①Q-U検査を活用した学級作りを行う。
- ②年間計画にもとづいた授業実践を行う。
- ③特別支援教育の研究・実践を行う。

◆家庭との連携

①生活実態調査を行い、結果をもとに、連携を図る。

②学校・学級通信と個人面談を実施する。

③家庭学習の手引きを作成し、家庭学習の定着を図る。

④佐賀つ子ノートを活用する。

◆保・小・中の連携

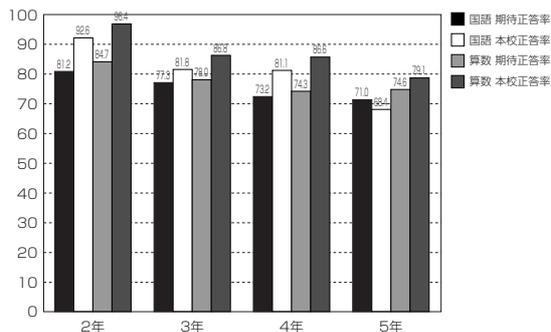
- ①定期的な情報交換・協議の場をもつ。課題を共有する。
- ②公開授業を実施する。
- ③共通の指導目標を設定する。

おわりに

本校の人権教育・福祉教育・生活科・総合的な学習の時間の充実のために、保護者、地域、関係機関の方々に今年度も協力をいただき感謝をしています。

子どもたちの様子は、その都度、学校通信に載せていますので、ご覧いただければ幸いです。

標準学力調査結果



伊田小学校

地域と共にあゆむ教育

校長 山崎 祥正

はじめに

本校は、全校児童22名、教職員6名の完全複式3学級の学校です。周辺には山や海・川があり、自然環境にとっても恵まれています。

学校の目の前には太平洋が広がり、教室から海が望めます。特に、3階の音楽室からは、「足摺はるか日に映えて」と校歌にも歌われている足摺岬を遠望する大パノラマを見ることが出来ます。

小規模校の特性を生かし、保護者と一体となり地域と共にあゆむ教育を進めています。



足摺岬遠望

学校教育目標

「げんきに、ゆたかに、かしこく」―学ぶ喜びと生きる楽しさを―

教育目標を達成していくための具体的な取り組みのいくつかを紹介します。

校内研究について

「一人ひとりを生かす教育活動の創造」―複式学級における授業づくりの研究と実践―の研究主題のもと取り組みをしています。

◆複式学級での学習習慣の育成と学習指導方法の確立

一人学びの学習指導を充実させ、発表の仕方など基本的な学習習慣を育成し、学習規律を確立します。

◆授業の質の向上

講師招聘など、授業の質を高める工夫をし、地域の人や関係機関と連携しています。



高浜でアカウミガメが産卵

◆自尊感情の育成

児童の実態を大切にし、人権意識や自己肯定感を高め、意欲を育て、認め合い、支え合い、助け合える仲間づくりをめざして自尊感情の育成を図っています。

◆基本的生活習慣の育成

健康で望ましい習慣の習得と、「早寝・早起き・朝ごはん」の推進を図っています。

◆読書指導の充実

15分間の読書タイムを通して、読書好きな児童の育成や読書の習慣化を図っています。

◆各実態調査などの活用

それぞれの結果を的確に分析し、今後の指導に生かしていきたいと思えます。

◆学力の定着・向上

4月に実施した本年度の「標準学力調査」の結果は、全体的に期待正答率をかなり上回



授業の様子

っています。(国語/本校87%

【期待正答率76%】算数/本校86%【期待正答率78%】しかし、努力を必要とする課題もあり、今後とも一人ひとりに合った反復継続学習と指導が必要です。

◆豊かな体験学習

読み・書き・計算などの基礎基本の定着と徹底を図り、応用力や活用力の向上を目指します。また、家庭学習の習慣化も図っています。

◆豊かな体験学習

学校行事、総合的な学習の時間や生活科などを通して自然体験、生活体験、社会体験などさまざまな体験活動を通して人や自然、社会と関わる学習を仕組み、ふるさを見つめ、ふるさとを愛する教育活動を保護者や地域の協力を得て実施しています。



出前考古学教室

◆自然とふれあう体験活動

川遊びや海水浴などを実施しています。



◆生活に関わる体験活動

勤労生産活動として、稲作りや芋作りをしています。また、地域の伝統文化を学ぶため太刀踊りや子踊りを習い、祭りや運動会で地域の方と一緒に踊ります。

◆社会と交わる体験活動

シーサイドホームと交流活動をしています。また、カレンダーの配布や敬老のハガキ、年賀状を出すなど高齢者とのふれあいを深めています。

◆おわりに

今後も、児童の実態についてみんなで課題を共有し、地域ぐるみの教育活動を進めていきます。また、学校と地域との交流活動をより一層推進し、情報の相互交流を図り、地域の学校として存在することを大切にしたいと思います。